

プロジェクト課題「お出かけ支援アプリⅡ」要件定義書

第 2.0 版

2022 年 1 月 16 日

学番：2172010

氏名：有馬祥太

1. 背景

2020 年春より新型コロナウイルスの感染が拡大し、現在徐々にウィズコロナな生活への対応が迫られている。今回、コロナ過でも安心して旅行を楽しんでもらおうと、「お出かけ支援アプリⅡ」の開発をする。お客様が安心して楽しい思い出の役に立つことが重要にな。

2. 課題

現在、明らかになっている課題は次のとおりである。

- (1) 旅行地の天気を調べるのが大変
- (2) グループ旅行客への情報共有の利便性
- (3) 海外旅行者への支援
- (4) 歩きスマホへの対応

3. 目的・方針

2. に挙げる課題を解決しながら、だれもが安心して旅行することを目的として、旅行支援アプリ開発を行う。導入に当たっては、次の方針を掲げるものとする。

- (1) 旅行先の出発地・目的地の天候情報を表示し、お客様の旅行の準備に役立てる
- (2) 待ち合わせのため、位置情報の共有をカメラ機能と併用させ、メールで一斉に連絡できるようにする
- (3) 海外の方にも利用できるよう、日本語だけではなく、英語の表示も可能とする
- (4) 歩きスマホは危ないので、操作を簡単にし、スマホに集中させ過ぎない設計にする

4. 概要

本アプリは、お客様が予定している出発地・経由地・目的地の天候情報や、GPS による自分の位置情報をもとに、おすすめスポットや待ち合わせの場所決めといった旅行の支援につなげられるようなサービスをお客様に届けます。

(今回対象外) 5. 用語の定義

6. 機能

本システムの機能は大きく分け、4 つに分類できる。各機能の名称と働きを以下に示す。

6.1,天候情報機能

天候情報を OpneWeather API という気象情報サービスから、入手する。入手した情報の中からお客様が指定した出発地・経由地・目的地の気象情報を表示する。天候情報に追加で、目的地の天候の変化に応じたおすすめスポットを提案する。また、6.2 の「待ち合わせの際のグループ間共有機能」でも説明するが、待ち合わせの際にも天候が確認できるように天候情報を表示する。

6.2,待ち合わせの際のグループ間メンバー共有機能

海外からいらっしゃるグループ旅行客でも利用可能な機能であることを想定し、メールで仲間に送信できるようにする。その際、写真を添付も可能にすることで待ち合わせ場所の具体的な情報を共有することが可能になる。

6.3,英語対応機能

日本人のみならず、海外からの旅行者も利用可能にするために、英語表記をする。具体的に、ブラウザにあるような自動翻訳ではなく、英語名等をあらかじめアプリに登録しておく予定である。

6.4,歩きスマホ危険防止機能

旅行先は慣れ親しんだ土地ではないため、歩きスマホによる交通事故等のリスクが懸念される。そこで、カーナビゲーションのような簡素で、スマホに集中しすぎないインタフェース設計をする。表示する情報としては、天候情報の表示、カメラへの切り替えボタン、言語の切り替えボタン、自分の位置情報を知らせるメールを送信するボタンを考えている。

(今回対象外) 7. システム化の範囲

(今回対象外) 8. 導入・移行計画

(今回対象外) 9. 運用・保守

(今回対象外) 10. 工程計画

(今回対象外) 11. 体制

(今回対象外) 12. 成果物

以上